

科目区分・分類	専展・実験	対象学科名・学年	両専攻 2年	科目コード	79902001
科目名	特別研究 Special Study II				
担当教員	特別研究 担当教員				
単位数(時間数)	必修 通年 8単位 (360時間)【学修単位】	学習・教育目標との対応	(D-1)(F-1)(G-1)		
授業の目的と概要	生産環境システムおよび電気情報システムに関する総合的な研究開発能力を育成するため、担当教員のもとで、文献調査、創造的実験、理論分析、討論などを実践する。				
先修科目					
後修科目					
備考	機械、電気電子、情報または土木工学全般にわたる知識を基礎として、研究遂行能力、プレゼンテーション能力および論文作成などを向上させることを意識しながら取り組むことが必要である。				
	授業項目	時間	内容		
1	多分野の中から興味のあるテーマを選択する。	360	取り組むテーマの内容、特にその背景や具体的な問題点を把握することができる。		
2	分野を専門とする担当教員から個人指導を受ける。		研究を進める上で必要な実験装置やデータ処理法について理解し、適切に操作、使用できる。		
3	計画的に研究を遂行する。		既に学んでいる基礎的な数学や物理の知識を応用して、データ等を理論的な裏づけの下に整理できる。		
4	特別研究発表会で成果発表を行う。		実施した研究内容を特別研究論文および概要集にまとめ、一定の時間内で発表、説明ができる。		
5	特別研究発表会は担当教員等の評価を受ける。				
6	特別研究論文および概要集を作成し提出する。				
7	特別研究論文および概要集は担当教員等の査読を受ける				
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	これまでに学習した内容を特別研究テーマに応用できることで(D-2)の達成とする。発表資料の作成および発表(プレゼンテーション)を行うことで(F-1)の達成とする。また、特別研究 を継続的に行い、まとめることができることで(G-1)の達成とする。				
成績評価	特別研究実施に対する評価(60%)で(D-2)を評価し、プレゼンテーションに対する評価(20%)で(F-1)を評価し、論文(特別研究論文および概要集)に対する評価(20%)で(G-1)を評価する。ただし、各評価については、専攻科で定めた評価基準に従う。それぞれの評価において6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。				

教材	教科書：特別研究 担当教員による。 参考書：特別研究 担当教員による。
オフィスアワー	水曜日16：00～17：00，特別研究 担当教員室。